

政策評価有識者会議(平成30年3月16日)における指摘事項への対応(整理票)

○労働・子育てWG

指摘事項	対応状況(平成30年7月)
Ⅲ-2-1 労働者が安全で健康に働くことができる職場づくりを推進すること	
<p>●【皆川委員】職場の受動喫煙、雇用均等待遇など、「職場づくり」という観点からは、「労働災害による死亡者数」「死傷者数」にとどまらず他の測定指標があっても良いのではないか ー(議事録)ー問題は受動喫煙がなるべくなくなることが直接的に、労災の数に反映してくるのかどうか。労働災害と見られる場合ももちろんあるでしょうけれども、労災を超えて、労働者の傷病に関わる場所に関しても、より効果が見込めるような施策であるというようなところもあるかと思えます。(略)。端的に申しますと、最終的な達成目標のところは労災の数ということになっております。これで政策全体の達成目標としては適切だと思うのですが、そのほかに今申し上げた必ずしも労災に収斂しないような施策目標を何らか達成する指標というのは、御検討されたのだろうと拝察は申し上げますが、いかがでしょうかという点をお伺いしたいと思います。</p> <p>●【岩佐委員】事業を整理して記載して欲しい ー(議事録)ー目標との関係で関連性があるかという観点もそうなのですが、いざ評価をさせてもらう側からすると、一杯書いてあると何をしようとしているのかがよく分からない(略)。要するに、減らしていくためのこの何年間の中のポイントはここだと考えているので、事業がこれとこれですと言われるとこちらも評価というか、確認がしやすいのですが、関連するものが全部挙がってくると、特にこの何年間の中で労災を減らしていくところのどこがポイントなのか、ちょっと分かりにくいところがある。ですから御説明をいただくか、若しくはポイントを絞った形で事業が挙げられているほうが、私としても分かりやすいのかなと思いました。</p>	<p>●対応済み ・達成手段をグループ化(安全衛生指導啓発関係、労働者の安全確保関係、身体健康確保(化学物質対策等)関係、心の健康確保(メンタルヘルス対策等)関係、その他)し、メンタルヘルス対策に係る測定指標を追加</p>
<p>●【山田委員】達成手段の欄には、「職域対象のメンタルヘルス対策事業」とあるが(メンタルヘルスもこの施策目標の範囲になっていると思われるのに、現状では測定指標がないが)、少なくともメンタルヘルスに関する調査はしているはずなので、指標として盛り込んで欲しい。 ー(議事録)ー精神障害による労災支給決定件数というのは増加傾向にある。先ほども御意見がありましたが、メンタルヘルスについては、非常に重点化してやろうというおつもりであるならば、達成目標について何らかの指標は入れるべきだと思いますので、こちらは何らかの指標を入れていただきたいというのが1点目になります。</p>	<p>●対応済み ・メンタルヘルス対策に係る測定指標を追加</p>
<p>●【内田委員代理漆原様】(測定指標と比較すると)達成手段が多くて、目標との関係が分かりにくいので、目標との関係を整理して欲しい。 少なくとも、グループ化するなど順番を整理して欲しい ー(議事録)ー今の安全衛生のところですが、多分分かりにくい原因になっている1つがそれぞれの施策、例えば精神衛生とか快適職場など、それぞれのところが固まっていな。この一部についてはこちらにあって、この一部についてはこちらにあるというような順番の問題があるかと思えます。メンタルヘルスの対策であればそれはそれで1つにまとめてもらったほうが、全体で読む時に分かりやすいので、そういった工夫をお願いできないかと思っております。</p>	<p>●対応済み ・達成手段をグループ化</p>

Ⅲ-5-1 労働保険適用促進及び労働保険料等の適正徴収を図ること

●【山田委員】「前年度以上」といった目標では無く、何らかの形で未適用事業所の数を推測し、そのうちの〇パーセントを適用するという目標を設定すべきではないか。
 ー（議事録）ー未手続事業対策により労働保険に加入した事業場数、これは年金保険や健康保険もそうですが相当数の未手続事業場が残されているという問題がある。これは単なる収納率の話ではなく、ソーシャル・ダンピングというか、入るべきものを免れている事業場数があるということであれば、何らかの形で推定して何パーセント入れるか、何パーセント入れたかという形でむしろここは掲げる。アウトプットではなくアウトカム（中略）の指標として入れたほうがいいのかと思います。
 アウトプットかアウトカムかという、どのように仕分けるかという話をしているのではなくて、いわゆる未手続事業場数が相当にのぼることを認識されておられるのであれば、その事業場数のおよその数か何かを挙げた上で、何パーセントをそういった形で入れたか。要するに、パーセント表示をしたほうがよろしいのではないか。

●対応しない（現在の目標設定の考え方を維持する。）
 ・未手続事業対策は、事業の廃止、新規成立が絶え間なく繰り返される中で、常に対象を把握して取り組む必要がある。このため、把握しうる対象の一定割合を目標値とするのではなく、様々な行政情報を活用して可能な限り対象を把握して漏れなく加入促進するといった取組みをしている。具体的には、厚生年金の適用事業所データ、法人登記情報を活用したシステム突合、国土交通省との通報制度または新規営業許可申請時に許可行政庁による情報提供等により未手続の可能性のある事業の把握に努め、加入指導に取り組む、速やかな労働保険加入を促しているところ。

Ⅵ-2-3 福祉から自立へ向けた職業キャリア形成の支援等をする事

●【山田委員】「背景」に「特に精神障害者、発達障害者等の・・・右肩上がりで伸びている。」と分析していることを踏まえて、障害特性に着目した指標設定をすることが出来ないか。
 ー（議事録）ー「障害者の障害特性を踏まえつつニーズに」と書いてあるので、当然ながら障害者の障害特性に分かれた指標が必要になるかと思っています。そうしないと非常に重度の方が出てきて、要するに就職率が下がっているのかそうではないのかは、こちらとしては判断ができません。こちらは何とかして分けて書いていただきたい

●検討中
 平成32年1月に実施を予定しているハローワークシステム次期更改において、障害種別の就職状況が取得可能とできるかについて調整中。

●【岩崎委員】「就職率」の指標はあるが、「定着率」に関する指標を設定出来ないか
 ー（議事録）ー実際に評価をなさる時、福祉サービスの領域では最近就労したということだけではなく、その後どれくらい定着したのか、それが随分数字として重要になってきていると思います。その辺りのことというのはいかがなのでしょうか。

●検討中
 平成32年1月に実施を予定しているハローワークシステム次期更改において、雇用保険被保険者の定着状況が取得可能とできるかについて調整中。

○全W共通

指摘事項	対応状況(平成30年7月)
<p>●【玄田委員】「背景」をきちんと書いて欲しい。課題しか書いていないことが多い。 ー(議事録)ーいただいているこの事前分析表のうち、各項目について背景と課題という欄がございます。ただ、労働・子育てワーキンググループに限らず書いてある内容は課題だけなのです。多分、この辺りは全部簡潔に課題を書くようにという指示の下、適切に書かれていて、その面では課題は非常によく分かりました。ただ、背景はほとんど書かれていないような気がいたします。ですので、背景が何かということはどういうように認識されているかが分からないと、目標の立て方に対する説得性がない。 今後の課題として考えていただきたいのですが、ここは飽くまで実現のための課題を書いていただく欄にして、一方、例えばそれこそ概要の部分についてはほかのワーキンググループを含めてかなりスペースがあるわけです。もしかしたら、これとは別に背景の部分というのは別に書いていただくようなことをしないと、背景がここには全く書かれていないということは、全般を通じて申し上げたいと思っております。</p>	<p>有識者会議に諮った事前分析表の「背景」記載について、あらためて確認し、必要な追記をしている。</p>